

別紙

ダイキョーニシカワ株式会社大和工場温室効果ガス削減計画

1 事業の概要

- (1) 事業所の名称 ダイキョーニシカワ株式会社 大和工場
- (2) 事業所の所在地 〒729-1332 広島県三原市大和町上草井505番地
- (3) 業種 輸送機械器具用プラスチック製品製造業（1832）
- (4) 従業員数 325名

○ (5) 事業所位置図

別紙(平面図)のとおり

2 計画の期間

本計画の期間は平成19年度を基準年度とし、平成27年度から平成31年度までの5年間とする。

3 計画の基本的な方向

環境理念

「我社は全員参加で、徹底した環境保全活動を継続的に行い、
人・社会・地球にやさしい企業になります。」

環境方針

- 1) 企業活動が環境に与える影響を把握し、環境目的・目標を定め、定期的な見直しを行うとともに、環境マネジメントシステムにより継続的改善を図り、汚染の予防に努めます。
- 2) 企業活動、製品及びサービスの環境に与える影響の中で、特に以下の項目について、優先的に活動し、徹底したロス低減と環境改善に取り組みます。
 - ・ 廃棄物の削減とリサイクル化
 - ・ 省資源、省エネルギーの推進
 - ・ 環境負荷物質の管理・低減
- 3) 環境に関連した法規制およびその他の要求事項を順守します。
- 4) この環境方針は、私の責任で文書化し、当社のために働く全ての人に周知し、実行し、維持します。
- 5) この環境方針は、社外に公表します。

4 温室効果ガスの排出状況（二酸化炭素換算）

【エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	活動の区分	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)		
		平成2年度	基準年度 平成19年度	直近年度 平成26年度
二酸化炭素	燃料の使用	4,365	5,539	3,397
	他人から供給された電気の使用	6,357	6,149	6,727
合 計		10,722	11,688	10,124

【非エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	活動の区分	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)		
		平成2年度	基準年度 平成 年度	直近年度 平成 年度
二酸化炭素				
合 計				

【その他温室効果ガス】

温室効果ガスの種類	活動の区分	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)		
		平成2年度	基準年度 平成 年度	直近年度 平成 年度
メタン				
一酸化二窒素				
HFC				
PFC				
SF ₆				
合 計				

5 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標

《排出量を削減目標とする場合》
(t-CO₂) , 削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成 年度)		削減目標		目標年度 (平成 年度)
	排出量		削減率	削減量	排出見込量
	(a)	(b)	(c)	(d)	
エネルギー起源CO ₂					
非エネルギー起源CO ₂					
メタン					
一酸化二窒素					
フロン類					
総排出量					

※ 削減率(b) = (c) / (a) × 100 削減量(c) = (a) - (d)

《原単位を削減目標とする場合》
原単位：売上高

単位：排出量(t-CO₂) , 原単位量 (kg等) , 削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成19年度)			原単位 削減目標		目標年度 (平成31年度)	
	排出量 (a)	原単位 数値：百万 円 (b)		削減率 (d)	排出 見込量 (e)	原単位	
		原単位(c)				見込数値 (f)	見込 (g)
エネルギー起源CO ₂	11,688	3,879	3.013	5.0%	11,496	4,014	2.864
非エネルギー起源CO ₂							
メタン							
一酸化二窒素							
フロン類							
総排出量	11,688	3,879	3.013	5.0%	11,496	4,014	2.864

※ 削減率(d) = {(c) - (g)} / (c) × 100 原単位(c) = (a) / (b) 原単位見込(g) = (e) / (f)

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置項目及び目標並びに具体的な取組み等

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項目	数値目標	具体的な取組み
1	燃料使用量の削減	原単位 1%/対前年 (5%/5年間 削減)	<ul style="list-style-type: none"> ・配管保温の更新 ・ライン稼動に合わせた供給システム構築 ・空調方式の変更 ・省エネイアトラップへの更新
2	電気使用量の削減		<ul style="list-style-type: none"> ・コンプレッサー台数制御装置導入 ・高効率照明器具への更新 ・水銀灯使用の見直し ・高効率トランスへ更新 ・空調温度の適正管理

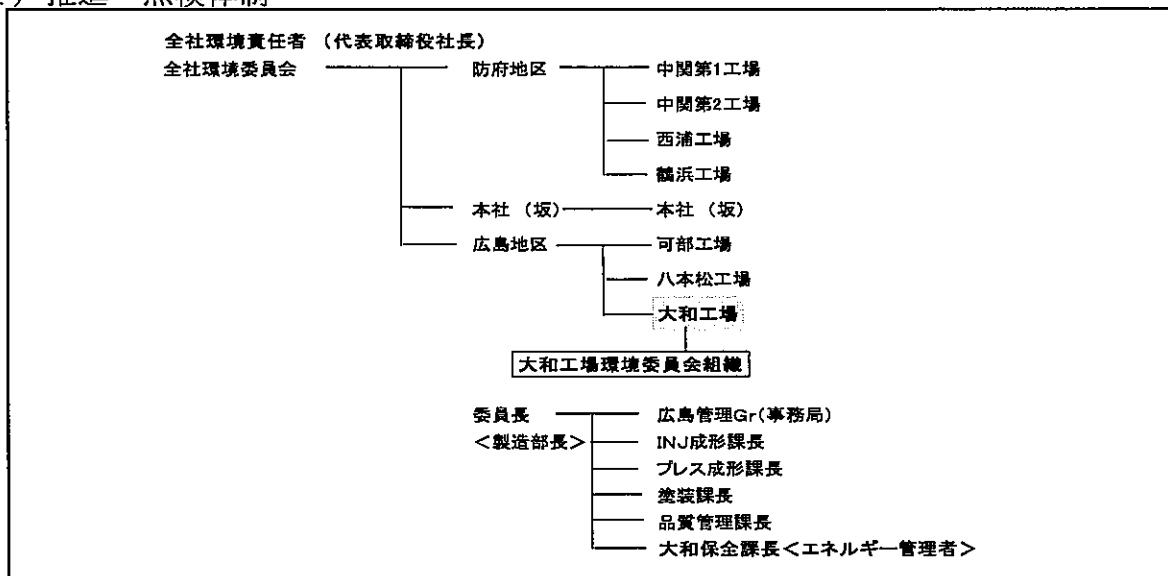
※ 原単位で作成する場合は、数値目標欄の記載例中、「使用量」を「原単位」に適宜読み替えること

○ 環境に配慮した実践的な取組み

	項目	数値目標	具体的な取組み
1	全廃棄物の削減	2006年度比 20%減	<ul style="list-style-type: none"> ・塗料カスのリサイクル化 ・塗装汚水の延命化 ・廃プラリサイクル化
2	廃プラ発生率の削減	2006年度比 10%減	<ul style="list-style-type: none"> ・不良低減活動 ・リネー等の再生利用
3	不良ロス低減活動	年毎、部門毎設定	<ul style="list-style-type: none"> ・サークル活動の推進 ・新製品垂直立ち上げ

7 温室効果ガス削減計画の推進並びに実施状況の点検及び評価に関する方法等

(1) 推進・点検体制



(2) 実施状況の点検・評価

保全課及び管理Grを中心として、毎年温室効果ガス削減計画の取組状況の把握・点検及び問題点の検討を行い、環境委員会(毎月)マネジメントレビュー(2回/年)において定期的に評価・見直し等を行い、継続的な向上を図る。

また、毎年度の取組状況、点検・評価内容等については、計画書とともに公表する。

(3) 計画の公表

事業所に備え付けて閲覧する。